

会 議 録

会議名 (審議会等名)		(仮称)相模原市市民の森検討委員会		
事務局 (担当課)		経済部津久井経済観光課 電話042-780-1416 (直通)		
開催日時		平成24年11月21日(水) 15時00分～17時00分		
開催場所		相模原市役所 相模湖総合事務所3階 3A会議室		
出席者	委員	8人(別紙のとおり)		
	その他	1人(別紙のとおり)		
	事務局	6人(津久井経済観光課長、他5人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1. 市民の森候補地の現地視察 2. 議事 (1) 各経済観光課からの候補地プレゼンテーション (2) 各委員による候補地の評価結果取りまとめ (3) 候補地に関する議論 (4) その他 3. 閉会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員長の発言、□は委員の発言、●は事務局(業務受託者含む)の発言)

1. 市民の森候補地の現地視察

9時半から14時半まで4か所の候補地を現地視察した。

2. 議事

(1) 各経済観光課からの候補地プレゼンテーション

城山経済観光課、津久井経済観光課、相模湖経済観光課、藤野経済観光課の職員から所管する該当地区の候補地についての説明が行われた。

(2) 各委員による候補地の評価結果の取りまとめ

- ○3点、△2点、×1点で集計した。A123点、B84点、C111点、D111点。個別の評価軸で見ると、「平坦地」についてはAが一番評価が高く、「進入路の確保」「既存施設」についてもAが一番評価が高い。「周辺施設」については、CとDが一番高評価。「セラピー」はすべて大きな差はないが1ポイント差でAが高評価。「将来性」についても大きな差がついていないが、Dが1ポイント評価が高いという結果となった。

- 候補地それぞれが全く性格が違うので、一律に評価はできないだろう。この順位付け自体はそれなりの重さはあるが、1つの参考にしながらい次回までに幅を持たせた形で検討した方がよいのではないか。

(3) 候補地に関する議論

- Dは平坦地が少ないとのことだが、周辺の耕作放棄地を活用し、駐車場等に転用する上で規制が掛っているのか。

- 優良農地が広がっているエリアとなっており、基本的には非常に難しい。

- Aを観光の視点から見て貰いたいという話があったが、具体的な話があり、既存の計画とバッティングする等の懸念はあるのか。

- 縦貫道のインターができることもあり、既存施設を活かした里山の取り組みなどを検討している。二重投資になるなどの地域の方の声が心配される。

- 資料等で「早期」という言葉が出てくるが、「早期」とはどのくらいの期間のイメージか。
- 予算や地権者との関係もあるので、5年くらいのスパンを基本に考えている。
- 評価について、現状評価と将来性評価は別問題だと思うが、今回の議論に入れるかどうか。
- 事務局が作成した評価シートではあるが、現状評価としての「進入路」等の項目に加え、「将来性」という項目を設けており、それに従って評価して頂ければと思う。
- 仮に市役所から時間は変わるのか。現状の所要時間はどれくらいか。
- Aは30分。Bは45分。Cは70分。Dは50～55分。中野以西は広域道路が出来ることで、5～10分短縮されるだろう。
- 少し視点が変わるが、行政として市民の森に盛り込みたいことは何か？私の勝手なイメージは、少子高齢化の中で市民目線で参加できることが必要だと考えている。
- 現在の要件等はあくまで市内目線なので、それに囚われず考えて頂きたい。
- 周辺市民の参加可能性は考慮した方が良いだろう。
- 市民の方々に山のこと、整備の必要性、雇用の機会というところを伝えたい。
- 一般の市民、小学生、高齢者が行って楽しい、健康になるという視点、観点、目的が評価シートの軸にはない。かといって人が来ないことには「市民の森」にならない。やはり市民が行き易いことが一番メインになる。
- 5年と長い計画であれば、委員に若い人を加えた方が良いのではないか。

- 本委員会はいくまで候補地の選定で、利活用の検討の際に若い人を入れて行くということが良いのではないか。この委員会で選に漏れた候補地も決して劣っている訳ではないので、他の用途で活用していくことなども検討していけばよい。
- やはり市民自身に関わることで自分たちの森としての自覚が出て来るので、そうした参加しやすさが重要だと思う。
- 地形や植生などを見ると候補地によって、その後展開される市民の森の活動の在り方や可能性が大きく変わってくると思われるので、この委員会ではむしろ、市民の森の性格付けというようなことの議論が必要かもしれない。
- 既存で活動しているところは新たに市民の森に指定されても、既存の活動の色が出てしまって、新しい市民の森としての性格が出ないのではないか。
- 市内全域から来て頂けるということが一番重要だと考えている。
- 農との関わりも重要になるのではないか。またどこにするにしても、駐車場の整備だけはしっかりとやってもらいたい。
- 将来性という点では、Aは周辺に林業や森林の活動を行っている市民がおらず、そうした活動の将来性は考えづらい。
- 候補地の評価の取りまとめについては、様々な活動を行う上での植生、地形等の多様性、交通の便、大型車等の侵入可能性、雨天時等の活動拠点が整備可能性、周辺の市民活動との連携可能性、運営が委託しやすい市民活動の成熟度、これらの点を基本に、時間軸としての将来性や行政的な課題、以上を評価軸とし、事務局と調整しながら総合評価するという流れが良いのではないか。
- 委員長のご提案に沿った取りまとめ方で宜しいでしょうか。
- 了承した。
- 次回が最終なので、答申の素案の文章か内容を事前に送って頂きたい。

(4) スケジュール

第3回検討委員会の日程については、2月の上中旬（7，8日午後を除く日程にて調整）に開催予定。場所は相模原市役所にて行う予定。

以 上

(仮称)相模原市市民の森検討委員出欠席名簿

【検討委員会委員】

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	下村 彰男	東京大学 大学院 農学生命科学研究科 教授	委員長	出席
2	坂本 重光	津久井郡森林組合 専務理事	副委員長	出席
3	小野沢 良雄	津久井地区自治会連合会 会長		出席
4	平林 清	光が丘地区自治会連合会 会長		出席
5	金子 匡甫	東林地区自治会連合会 会長		出席
6	吉山 茂利	相模原市観光協会 副会長		出席
7	滝口 清吾	公募委員		出席
8	畑 久男	公募委員		出席

【オブザーバー】

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	石井 洋三	神奈川県 農政部 森林保全課長		出席